

新須磨病院

〒654-0048

神戸市須磨区衣掛町3丁目1-14

TEL 078-735-0001

FAX 078-735-5685



2022.4 改訂

制作・編集：田中 亜里彩

発行元：新須磨病院

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等のご遠慮ください。

※本誌の取材・撮影には感染対策に十分配慮して行なっています。

© 2022 Arisa Tanaka

医療法人社団 慈恵会

新須磨病院

新須磨病院



理念

質の高い医療を実践し、 患者様本位の信頼される病院を目指す

1. High Performance

質の高い医療を
迅速に提供するとともに、
地域医療とも
積極的に連携します。

2. Hospitality

常に患者様の気持ちを
思いやり、患者様の権利を
尊重します。医療に
関して納得のいくまで
ご説明します

3. Team Work

互いを思いやり、
尊重・協力しあって
総合力を発揮し、高い
信頼を勝ち取るとともに、
働きやすい職場を作ります。

新須磨バリュー

新須磨病院は、この5項目を職員の行動の底流にあるべきバリュー（価値観）とし、すべての職員が常にこのバリューを意識して職務を遂行します。

< 5つのS >

Speed	迅速性
Skill	技術力
Safety	安全性
Specialty	専門性
Sensitivity	思いやり

4. Best Effort

医療の進歩と自らの
向上のため、
日々研鑽に努めるとともに、
常に最善を尽くします

5. Growth

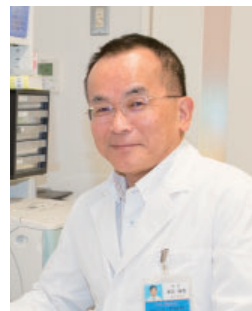
職員一人ひとりが
それぞれの立場に応じて
病院経営の健全化と
発展に貢献すべく
努力します

当院は昭和35年に開設以来、半世紀にわたって地域の中核病院として良質の医療提供に努めてまいりました。外科・内科の二つの診療科から立ち上げ、今では19診療科を有する総合病院となりました。そして、平成27年9月に、新病院に移転しました。

関連施設も増え、当院を含めた5つの医療施設、医療専門学校、有料老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、日本二府椎水頭症研究振興財団など、13施設からなる「医療」「介護」「教育」を三本柱とした慈恵会グループを形成し、シームレスな医療と介護の提供ができるようになりました。

病床数147床、職員数350人の典型的な中規模病院ではありますが、常に医療の質とニーズを追及し、地域に根ざしつつ、恒常的に良質の医療を提供できるナンバーワン病院を目指し、職員一同精進する所存です。

理事長・院長 澤田 勝寛



病院概要

名称	医療法人社団 慈恵会 新須磨病院
開設	昭和35年12月28日
理事長	澤田 勝寛
院長	澤田 勝寛
病床数	147床
職員数	350名
建物	西館 東館
看護職員実質配置	7:1
診療科目	19科 内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 心臓血管外科 泌尿器科 皮膚科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳神経内科 心療内科 循環器内科 歯科口腔外科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科（理学療法、作業療法、言語療法、視能訓練）
特殊外来	糖尿病・高脂血症 糖尿病合併症 リウマチ・膠原病 スポーツクリニック 創傷 脊椎物忘れ 骨粗鬆症 更年期 外リンパろう 睡眠障害
特殊治療	ガンマナイフ治療 人工透析 高気圧酸素療法 ハイパーサーミア治療 関節鏡手術 腹腔鏡手術 各種内視鏡手術 vNOTES
医療機器	ガンマナイフ MRI MDCT DSA アンギオ装置 筋電図 脳波計 超音波診断装置 各種内視鏡 X線骨密度測定装置 がん温熱療法装置 高気圧酸素治療装置 等
その他	地域医療相談センター 創薬センター

フロア案内

西 館

5F	栄養科 介助浴室
4F	地域包括ケア病棟
3F	一般病棟
2F	外来診療室 化学療法室 内視鏡検査室 中央検査室 病棟透析室 高気圧酸素療法室 ハイパーサーミア（がん温熱治療）室
1F	正面玄関 総合案内 外来・入院事務所 夜間救急受付 地域医療総合センター 外来診療室 救急外来 レントゲン室 CT室 売店
B1F	リハビリテーション室

東 館

4F	管理部門
3F	手術室 中央材料室
2F	一般病棟
1F	ガンマナイフ診療室 MRI室 血管撮影室 SCU（脳卒中集中治療室） 一般病棟



最先端の装置と設備で 安全な治療と的確な診断を目指す

当院では、積極的に最先端の医療機器を数多く導入しています。医療機器の進歩は、検査や治療を速く正確にし、確実に患者様の苦痛を軽減しています。また、これらの医療機器は的確な診断を行なう上で大きな役割を担っています。また、放射線治療装置や高度先進医療を実現する各種治療装置も充実させています。

Discovery MR750w Expert 3.0T GE 社製 3.0T MRI 装置

MRI は X 線ではなく磁場を利用しているため被ばくを伴わない検査方法。最高磁力の3テスラ MRI を2機導入。従来のものに比べ検査時間は短縮され、高解像度画像により、小さな病変も発見しやすくなり早期発見・早期治療に繋がっています。

また、検査室の照明にも明るい LED を採用し、患者様の緊張感を和らげ、安心して検査を受けられるよう配慮しています。



Icon Elekta 社製 ガンマナイフ装置

頭蓋内の病変を切らずに治すことができる定位放射線治療装置。周囲の正常な組織を傷つけることなくあたかもナイフで切り取るかのように目的の部位だけを狙って治療できることから、ガンマナイフと呼ばれています。

当院は 2021 年 8 月に機種をアイコン R に変更。
高い精度を保ったまま、いままで治療が困難だった位置にある病変や、より大きな腫瘍など、様々な症例を治療することが可能になりました。



AlluraClarity PHILIPS 社製 血管撮影装置

従来以上の高画質を維持しながら、被ばく量は最大 80% 減。同時多方向から血管形態を高画質で描写。高性能ワークステーションにより、ほぼリアルタイムに血管の3D画像を表示できます。
当院では、脳血管や下肢血管疾患の治療に使用。



サーモトロン-RF8 EX Edition 山本ビニター社製 ハイパーサーミア装置

ラジオ波を使用し、癌の病巣部の温度を 40-45℃程度へ上昇させ、免疫力を活性化だけでなく、薬物療法と並行することで、がん細胞への薬物の取り込みを高めます。

Revolution EVO 64 列 /128 スライス GE 社製 CT 装置

従来のものに比べ、撮影時間は大幅に短縮し、その速さは全肺 2.5 秒、髄幹部 5 秒で撮影完了します。従来と同等画質における被ばく量は 85% 減。造影剤検査では、血流・関節などの動態観察等従来の CT では困難だった情報も得られます。



KHS-2000S 川崎エンジニアリング社製 高気圧酸素治療器

高気圧酸素療法は、気圧を 2 気圧に高めた治療装置内に入ってもらって、1 時間程度の時間、純酸素を吸っていただく治療です。酸素の行き届かない病巣の奥まで酸素を効率よく供給することで、病気の治癒を促進します。当院では 2015 年より治療を開始し、がんの放射線治療後の障害（血尿や血便など）、下肢虚血の治癒遅延、特発性難聴などの患者様を治療しています。

特色

創傷外来

▼ 糖尿病性潰瘍の例



治療後(6カ月で完治)

創傷外来では、人口の2%と言われる慢性創傷患者様を対象に、外来ベースで治療することを目的とした科です。

動脈不全、糖尿病、傷が治らない患者様から、先天奇形の患者様までそれぞれの病態に応じて適切治療を行なっています。血管外科医と形成外科医が中心として治療を行なっている創傷治療は全国でも珍しく、全国各地から多数の患者様が受診されています。また、医療従事者の見学も多数受け入れています。

詳しくは
コチラ▼



ガンマナイフ

ガンマナイフとは、頭部専用の放射線治療の機械です。通常のX線による放射線治療と似ていますが、放射線の線源に放射性同位元素コバルトを用いるもので、X線に比べて正確にピンポイントで病気に集中して放射線（ガンマ線）を当てることができます。西日本で初めてのガンマナイフ治療装置を1992年に当院に設置しました。現在では50台余りのガンマナイフ治療装置が日本中で稼働しています。

治療の対象となる病気は、癌の脳転移、良性脳腫瘍（聴神経腫瘍・髄膜腫・下垂体腺腫など）、悪性脳腫瘍（神経膠腫）脳動静脈奇型、三叉神経痛などです。1年間に400人前後の患者様の治療を行っており、30年間の治療で、1万人を超える症例の治療実績があります。

治療機器は絶えず最新の装置にリニューアルしており、直

近では2021年8月に全面的に入れ替えを行い最新の治療装置（アイコン）を設置しました。多数の病気、大きな病気にも柔軟に対応できる体制となり、県外からの治療患者様も多数ご来院いただいています。



詳しくは
コチラ▼



様々な特色ある医療を提供

ハイパーサーミア

当院では、がん治療の一つとして、2018年夏から高周波ハイパーサーミア治療器（サーモトン）を導入しています。この治療法は、がん細胞が熱に弱いという性質を利用し、高周波で身体の深部の温度を高めて、がん組織を弱体化、壊死させるという温熱療法です。

当院に足を運ばれるがん患者さんの多くが、他の臓器に転移しているステージIVです。手術や抗がん剤、放射線などのがん治療でも改善が見られず途方にくれ、他の病院から転院を余儀なくされた患者さんも少なくありません。ハイパーサーミアはそういった患者さんの一筋の希望になると考えています。

ハイパーサーミア治療だけでがんが完治するわけではありませんが、他のがん治療と併用することで、治療の効果を

高めるといった特性を持っています。また、副作用が少ないこともメリットです。脱毛や嘔吐など抗がん剤のような副作用はほとんどありませんが、患部に熱を送るために電極盤で体を挟むので、軽いやけどを起こす可能性があります。できる限り時間をかけて話を聞き、患者さんとそのご家族に向き合い、心身共に支え続け治療を行なっています。



詳しくは
コチラ▼



脊椎外来（くび・こし・せぼね）

脊髄治療センターでは、首や腰からくる四肢のしびれや痛み、筋力低下に対して高磁場のMRIを用いて精密検査を行い、症状の原因となる病変を特定します。

命にかかわる病気ではないことが多いため、まずは薬物療法を行います。患者さん個人のライフスタイルに応じて治療方針を検討し、必要な場合には手術を行います。手術はできる限り体に異物を埋め込まず、体への負担が少ない方法を考えます。

通常の椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症では、2週間程

度の入院です。また、近年患者さんの増えている圧迫骨折による痛みに対しては、骨折した骨の中に骨セメントを充填する治療も行っております。

当科では、手術用顕微鏡（ライカ）、COREVISION 3D（富士フィルム）、StealthStation S8（メドトロニック）を用いて、安全性を最優先した手術を行っております。

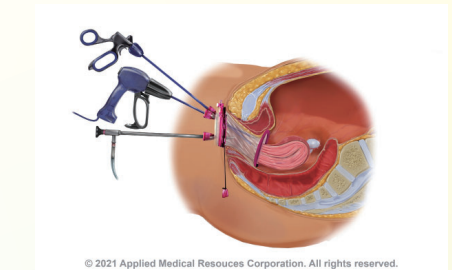
詳しくは
コチラ▼



婦人科 究極の低侵襲腹腔鏡手術 vNOTES

腹腔鏡での子宮全摘出術は、通常3～4箇所お腹に穴をあけますが、今回当院が導入したのは、腹部に傷が1つも残らないvNOTESという術式です。これは特殊な器具を使ってお腹に傷をつくらずできる腹腔鏡手術です。従来の腹腔鏡下子宮全摘出術より手術時間の短縮も図れ、体の負担も大幅に減少しています。またvNOTESは従来の腔式単純子宮全摘出術ではできなかった、卵管や卵巣などの子宮付属器も同時に摘出を行うことが可能です。術後復帰も早く、見える所に傷が残らないことから、次世代の究極の低侵襲手術とも言われています。

当院ではこのvNOTESを神戸市内においていち早く導入し、子宮のみならず卵巣や卵管などの子宮付属器疾患にも適応拡大しています。婦人科疾患でお困りの症例がありましたら当院へまず一度ご相談ください。



詳しくは
コチラ▼



耳鼻科 めまい・睡眠障害

耳鼻咽喉科では、積極的に特殊治療の診療を行なっています。

【外リンパ瘻外来】

外リンパ瘻は長い間持続する眩暈・フラツキあるいは突発難聴やメニエール病と類似の症状をきたすことがあります。その判断は難しく、適切な治療（内耳窓閉鎖術）に至らないことも往々にしてあります。当院の耳鼻咽喉科では、独自の聴力検査や眼振検査、耳のMRIなど、総合的に診断し、治療にあたっています。

【睡眠時無呼吸症候群】

簡易検査、1泊2日の終日ポリソムノグラフィーなどの検査入院体制を確立しており、外科的治療やマウスピース作成、CPAP治療を行なっています。また生活習慣病を合併している方は、内科と協力し総合的に治療にあたっています。

【睡眠障害】

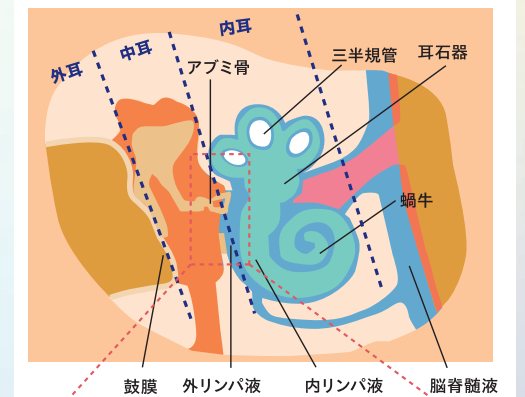
日本人の約5人に1人が慢性的な睡眠不足を抱えている中、睡眠医療専門医・認定機関の数はまだまだ少なく、兵庫県では専門医が10人のみとなっています。（2021年7月現在）

睡眠障害は、生活の質（QOL：Quality Of Life）を低下させるだけでなく、様々な問題を引き起こします。当院では、日本睡眠学会専門医を取得した医師が常勤しています。睡眠の悩みを抱えている方は一度、ご予約・ご相談ください。

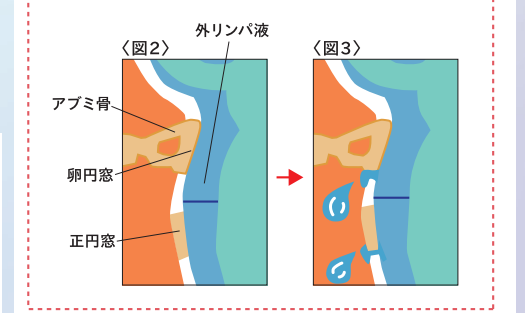
詳しくは
コチラ▼



＜図1＞[耳の仕組み]



【外リンパ瘻になると…】



社会復帰支援

● リハビリセンター 理学療法・作業療法・言語療法

脳卒中や整形疾患の方を主な対象として、入院早期よりリハビリを開始し、リスク管理に重点を置きつつできるだけ早く家庭・社会復帰が可能となるよう日々努めています。また退院後のフォローアップも行なっています。

【理学療法】

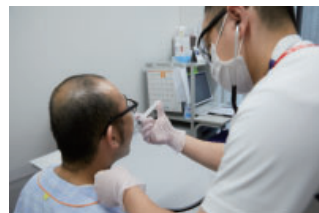
移動能力の獲得および向上を主な目的とし、早期より機能訓練を行なっています。また、退院後の生活を見据えた指導や環境の整備も行ないます。スポーツ疾患においては細かい動作指導までを行ない、完全復帰をサポートしています。

【言語療法】

脳血管障害の患者さんに対し、早期の接触機能の自立をサポートしています。また、失語症や構音障害などの方に対しても、評価や訓練を通じて早期回復に努めています。

【作業療法】

脳血管障害等の超急性期～亜急性期リハビリテーションを行ない、早期の日常生活動作の自立や介助量軽減をはかっています。また、在宅復帰に向けて継続的なリハビリテーションが行えるよう、回復期リハビリテーション病院や介護保険サービスとも連携をとっています。その他、手の整形疾患のリハビリテーションも行なっています。



早期社会復帰のための様々な支援

● 入院退院支援

入院前から患者さんごとに必要な情報やご希望、不安などを把握し、病棟等と連携し、患者さんご家族が安心して入退院できる環境を整えます。また、退院後の生活上の注意点や準備について一緒に考え、スムーズに退院後も生活して頂けるよう支援をしています。

● 地域医療相談センター

思いがけないケガや病気により、これからの生活や経済的なことなど様々な不安が生じます。当センターでは、お話を伺い、相談の内容によって、制度の説明や施設のご紹介など、適切な提案を行い、解決に向けて一緒に考えてまいります。

また、地域の関係機関と連携を取り、当院から退院される患者様に、安心してこの地域で生活して頂けるよう退院支援も行なっております。一人で悩まずお気軽にご相談ください。

医療福祉相談

- ・当院入院患者様の転院先の相談と紹介
- ・退院時の介護保険申請を含めた在宅支援援助
- ・介護保健、各種保険、年金や障害者手帳、生活保護申請の相談業務
- ・医療費支払い方法など、経済的問題の解決、調整援助

病院連携、病診連携

- ・他医院への逆紹介、他医療機関との連絡調整
- ・紹介患者様の外来予約および、入院相談

慈恵会グループ

時代のニーズに沿った 総合ヘルスケアネットワーク

慈恵会グループは、医療・介護・教育・研究を4本の柱とした、総合ヘルスケアネットワークを構築する事業体で、シームレスなサービスを提供しています。これからも、お互いに連携を強め、それぞれの質を高めていき、より一層、地域に貢献していきます。

・新須磨病院

- ・新須磨リハビリテーション病院
- ・新須磨透析クリニック
- ・腎友会クリニック
- ・新須磨クリニック

- ・日本二分脊椎
水頭症研究振興財団

医療

研究

医療法人社団
慈恵会

教育

介護

- ・神戸総合医療専門学校
- ・松江総合医療専門学校

- ・もみじ訪問看護ステーション
- ・北須磨訪問看護リハビリセンター
- ・介護老人保健施設「いきいきの郷」
- ・有料老人ホーム「エリーネス須磨」
- ・有料老人ホーム「介護の家」

アクセス

JR : 「須磨海浜公園駅」から南東へ約 400 m
市バス : 「須磨水族園」または「若宮町」下車徒歩 3 分
お車 : 阪神高速「若宮」出口より北へ約 100 m

